

理学研究科の求める教員像及び教員組織の編制方針

(1) 求める教員像

- 本学の求める教員像を踏まえ、理学研究科における教育・研究・社会貢献・管理運営の各種活動に意欲的に取り組める者
- 理学研究科の人材育成に関する目的、修了認定・学位授与の方針等に掲げる能力を教授するにふさわしい各専攻分野における高水準の研究能力・教授能力を有するとともに、様々な教育研究活動やFD活動等により、継続的にその資質・能力の向上に努める者
- 所属専攻分野の高い水準の研究能力を有するとともに、総合的な視点と対話能力を持ち、それらの分野の基礎的な重要性和応用可能性を客観的・倫理的に普及・評価できる者
- 国際的な幅広い視点と豊かな外国語能力・対話能力を持つことにより、理学研究科のグローバル化に貢献できる者
- 周囲の教職員と多様性を認め合い協働しながら、理学研究科・所属専攻における研究科・専攻運営、教務、FD等の活動に対し、自らの役割を果たすとともに、大学全体の管理運営にも協調して寄与できる者

(2) 教員組織の編制方針

- 理学研究科・各専攻の目的、方針（ポリシー）を実現するために必要な教員を適切に配置する。
- 理学研究科・各専攻における教育研究活動を継続的に実施するため、職位・年齢・性別・学問分野のバランス・国際性等を踏まえた多様な人材を配置する。
- 理学研究科および各専攻の研究・教育指導・管理運営・社会貢献の各種活動に対して、教員間で連携・協働するために、適切にその役割を分担する。
- 教員の募集・採用・昇任等にあたっては、理学研究科・専攻の運営に資する人事であるかに留意し、本学の関係諸規程等に基づくとともに、透明性・適切性を担保しつつ、公正・公平に行う。